

<2013年度 小学校の重点目標>

1) (民族的なもの)

○自分の民族に誇りを持てる心を育てる。

2) (学習面)

○子どもたちの学習状況に合わせた学習計画を設定し、一人ひとりに合わせた
学力向上・韓国語の生活化をめざす。

(各学年の補習・5, 6年の補充授業、全学年の韓国語3クラス編成など)

○自分で考え、学級全体の前やグループ内で発表する力を育てる。

○家庭学習(宿題)の定着のため、家庭との協力を円滑に行う。

3) (人権的なもの)

○子どもたちの心身の成長と社会状況にそって、カリキュラムを作成し、
体験学習を積極的に取り入れる。

4) (学校生活)

○進んで努力する子、はきはき元気な子、互いに助け励まし合う子どもを育てる。

○皆が共に、楽しい学校生活を送れるようマナー向上をはかる。

○再建築工事中も、子どもたちが過ごしやすく、一人ひとりが活躍できる学校作りを
目指す。

5) (小学校独自なもの)

○授業参観など公開行事を通して、いつでも学校をオープンにした開かれた
学校をめざす。

○一人ひとりの命を尊重し、子どもたちの発達状況に合わせた性教育を通し、
違いを認め合える心を育てる。

2013年度 建国小学校 学校評価アンケート(1年) 結果

2014. 1. 21 実施 児童数(27名)

A=매우 그렇습니다 B=그렇습니다 C=그렇지 않습니다 D=전혀 그렇지 않습니다.
 A-よくあてはまる B-ややあてはまる C-あまりあてはまらない D-まったくあてはまらない

	A	B	C	D
학교에 가는 것이, 즐겁다 (1) 学校へいくのが、たのしい	96%	4%	0%	0%
선생님은, 내 이야기를 잘 들어 준다 (2) 先生は、ぼく・わたしのはなしをよくきいてくれる	88%	8%	0%	4%
수업은, 알기 쉽고 즐겁다 (3) じゅぎょうは、わかりやすくてたのしい	88%	8%	4%	0%
수업에서는, 실제로 해 본적이 많이 있다 (4) じゅぎょうでは、ほんとうにしてみるがよくある	81%	15%	4%	0%
수업 중에 자주 발표한다 (5) じゅぎょう中に、よくはっぴょうする	54%	42%	4%	0%
선생님은 알기 쉽게 가르쳐 준다 (6) 先生は、わかりやすくおしえてくれる	96%	4%	0%	0%
선생님은, 우리들을 소중히 여겨 준다 (7) 先生は、わたしのことを たいせつにしてくれる	96%	4%	0%	0%
관한한 일이 있으면, 선생님에게 이야기할 수 있다 (8) 先生にこまったことをはなすことができる	81%	15%	0%	4%
소풍이나 운동회 등의 학교 행사는 즐겁다 (9) えんそくやうんどうかいなどの学校ぎょうじは、たのしい	96%	4%	0%	0%
가까운 학교(야마노우치 초등학교 등)와 교류하고 있다 (10) ちかくの学校(山之内小学校など)とこうりゅうしている	77%	15%	8%	0%
학교에서 지진이나 화재가 일어났을 때 어떻게 하면 좋은지 배우고 있다 (11) 学校で、じしんやかじなどがおこったときに、どうしたらよいか、教えてもらっている	100%	0%	0%	0%
수업에서 컴퓨터, DVD, 프로젝터 등을 잘 사용하고 있다 (12) じゅぎょうでコンピュータ・DVD・プロジェクターなどをつかうがよくある	69%	27%	0%	4%

국어 학습이나, 민족적인 행사(어린이 축제 등)는 즐겁다 (13) 国語(クゴ)のべんきょうや、みんぞくてきなぎょうじ(オリニチュウツェなど)はたのしい	96%	4%	0%	0%
몸의 공부를 통하여 자기 자신의 몸에 대한 것을 알게 되었다 (14) 体のべんきょうをして、じぶんの体のことがわかった	62%	31%	8%	0%

2013年度 建国小学校 学校評価アンケート(2-3年) 結果

2014. 1. 21 実施 児童数(44名)

A=매우 그렇습니다 B=그렇습니다 C=그렇지 않습니다 D=전혀 그렇지 않습니다.
A-よくあてはまる B-ややあてはまる C-あまりあてはまらない D-まったくあてはまらない

	A	B	C	D
학교에 가는 것이, 즐겁다 (1) 学校へいくのが、楽しい	52%	41%	7%	0%
선생님은, 우리들의 이야기를 잘 들어 준다 (2) 先生は、わたしたちの話をよく聞いてくれる	62%	36%	2%	0%
수업은, 알기 쉽고 즐겁다 (3) じゅぎょうは、わかりやすく楽しい	45%	48%	7%	0%
수업에서는, 실험·관찰·체험 등의 시간이 있다 (4) じゅぎょうの中で、じっけん・かんさつ・たいけんなどをするところがある	75%	25%	0%	0%
수업 중에 자주 발표한다 (5) じゅぎょう中に、よくはっぴょうする	16%	38%	32%	14%
선생님은 알기 쉽게 가르쳐 준다 (6) 先生は、わかりやすく教えてくれる	73%	25%	0%	2%
선생님은, 우리들을 소중히 여겨 준다 (7) 先生は、みんなのことを大切にしてくれる	80%	18%	2%	0%
관란한 일이 있으면, 선생님에게 이야기할 수 있다 (8) 先生にこまったことを話すことができる	36%	41%	23%	0%
소풍이나 운동회 등의 학교 행사는 즐겁다 (9) えんそくやうんどうかいなどの学校ぎょうじは、楽しい	98%	2%	0%	0%
가까운 학교(야마노우치 초등학교 등)와 교류하고 있다				

(10) ちかくの学校(山之内小学校など)とこうりゅうしている	32%	25%	36%	7%
학교에서 지진이나 화재가 일어났을 때에 어떻게 하면 좋은지 배우고 있다 (11) 学校で、じしんや火じなどがおこったときに、どうしたらよいか、教えてもらっている	80%	20%	0%	0%
수업에서 컴퓨터, DVD, 프로젝터 등을 잘 사용하고 있다 (12) じゅぎょうでコンピュータ・DVD・プロジェクターなどをつかうことがよくある	50%	25%	23%	2%
국어 학습이나, 민족적인 행사(어린이 축제 등)는 즐겁다 (13) 国語(クゴ)の勉強や、みんぞくてきなぎょうじ(オリニチュツチェなど)は楽しい	86%	9%	5%	0%
몸과 마음의 공부를 통하여 삶의 소중을 알게 된다 (14) 体と心の勉強を通して、いのちの大切さがわかる	57%	34%	9%	0%

2013年度 建国小学校 学校評価アンケート (高学年) 児童数 68名

2014.1.21 実施

A=매우 그렇습니다 B=그렇습니다 C=그렇지 않습니다 D=전혀 그렇지 않습니다.
A-よくあてはまる B-ややあてはまる C-あまりあてはまらない D-まったくあてはまらない

	A	B	C	D
학교에 가는 것이 즐겁다 (1) 学校へ行くのが楽しい	45%	40%	12%	3%
이 학교에는, 다른 일본 학교에 없는 좋은 면이 있다 (2) この学校には、日本の学校にはない良い面がある	57%	38%	4%	1%
선생님은 발표하는 것을 잘 들어 준다 (3) 先生は、発表したことをきちんと聞いてくれる	52%	40%	7%	1%
수업은, 알기 쉽고 즐겁다 (4) 授業は、わかりやすく楽しい	38%	44%	18%	0%
수업에서 실험·관찰·체험 학습을 많이 한다 (5) 授業で、実験・観察・体験学習をすることがよくある	34%	37%	28%	1%
수업에서 자신의 생각을 정리하거나 지명을 받아서 발언하고 있다 (6) 授業で自分の考えをまとめたり、指名されて発言したりしている	24%	41%	31%	4%
선생님은 알기 쉽게 가르쳐 준다 (7) 先生は、わかりやすく教えてくれる	50%	43%	6%	1%
학습 기록(통지표)은, 테스트 점수 뿐만 아니라, 자신이 노력한 것이나, 수업 태도 등을 고려해 평가되고 있다 (8) 学習の記録(通知票)は、テストの点数だけでなく、努力したことや授業に取り組む態度などを含めて評価されている	50%	46%	3%	1%

학교 생활에서 선생님의 지도는 납득할 수 있다 (9) 学校生活の中で先生の指導に納得できる	38%	49%	12%	1%
선생님은, 자신의 고민이나 상담을 잘 들어 준다 (10) 先生は、自分のなやみや相談をきちんと聞いてくれる	22%	47%	22%	9%
선생님은, 클래스의 문제를 바로 대응해 준다 (11) 先生は、クラスの中に問題があると、すぐに対応してくれる	44%	37%	16%	3%
성적 등 내용에 대해서 개인의 비밀을 지켜준다 (12) 先生は、成績などの内容について個人の秘密を守ってくれる	56%	40%	3%	1%
학교 행사는, 모두가 즐겁게 실시할 수 있도록 짜여져 있다 (13) 学校行事は、みんなが楽しく行えるように工夫されている	56%	40%	4%	0%
아동회 활동에, 관심을 가지고 적극적으로 참가하고 있다 (14) 児童会や委員会活動に、関心を持って積極的に参加している	31%	41%	21%	7%
클럽 활동에, 적극적으로 임하고 있다 (15) クラブ活動に、積極的(せっきょくてき)に取り組んでいる	60%	32%	4%	4%
복지 인권 수업 등의 여러 장애에 대해 학습할 기회가 있다 (16) 福祉人権授業で様々なしょうがいについて学習する機会がある	46%	41%	12%	1%
이웃 학교(야마노우치 초등학교)와 교류의 기회가 있다 (17) 近隣の学校(山之内小学校)との交流の機会がある	26%	49%	19%	6%
학교에서, 지진이나 화재 등의 재해가 일어났을 경우, 어떠한 행동을 취하면 좋은가 구체적으로 알려 주고 있다 (18) 学校で、地震や火災などの災害が起こった場合、どのような行動をとればよいか教えてもらい、訓練している	67%	29%	3%	1%
교실·특별 교실·운동장 등은, 사용하기 좋게 정비되어 있다 (19) 教室・特別教室・運動場などは、使いやすいように整備されている	35%	49%	15%	1%
수업에서 컴퓨터, DVD, 프로젝터 등을 잘 사용하고 있다 (20) 授業でコンピュータ・DVD・プロジェクターなどを使うことがよくある	19%	49%	26%	6%
건국학교에서는 민족의 말, 역사 등 재일한국인에 대해서 필요한 학습을 할 수 있다 (21) 建国では、民族の言葉、歴史など在日にとって必要な学習ができる	61%	29%	10%	0%
몸과 마음의 공부를 통하여 자기 자신과 친구의 차이를 알게 된다 (22) 体と心の勉強を通して、自分と友だちのちがいがわかる	44%	40%	13%	3%

2013年度 建国小学校 学校評価アンケート（保護者）結果

実施:2014.1.21-27. 保護者アンケート回収率 88%

A=매우 그렇습니다 B=그렇습니다 C=그렇지 않습니다 D=전혀 그렇지 않습니다.

A-よくあてはまる B-ややあてはまる C-あまりあてはまらない D-まったくあてはまらない

		保 護 者			
		A	B	C	D
1	학교는 교육 방침을 알려 주고 있다 学校は教育方針を伝えている	29%	59%	11%	1%
2	학교는 학교행사나 건강지도 등에 관한 정보를 제공하고 있다 学校は学校行事や健康指導などの情報を提供している	52%	48%	0%	0%
3	수업은 알기 쉽고, 즐거운 것 같다 授業はわかりやすく、楽しいようだ	30%	58%	11%	1%
4	학교는 학생들의 학력 향상에 힘 쓰고 있다 学校は子どもの学力向上に力を入れている	28%	60%	12%	0%
5	학교의 시설·설비는 학습 환경의 면에서 거의 만족할 수 있다 学校の施設・設備は学習環境の面ではほぼ満足できる	10%	32%	51%	7%
6	학교는 학생들의 안전관리나 안전지도에 힘을 쓰고 있다 学校は子どもの安全管理・安全指導に力を入れている	29%	57%	11%	3%
7	아이는 자신의 클래스가 즐겁다고 한다 子どもは自分のクラスが楽しいと言っている	50%	45%	5%	0%
8	학교의 분위기가 좋고, 아이가 활발하게 생활하고 있다 学校の雰囲気がよく、子どもが生き生きしている	46%	50%	3%	1%
9	선생님은 아이의 좋은 면을 봐 준다 先生は子どもの良いところをみしてくれる	41%	54%	5%	0%
10	학교는 아이의 인권을 존중해서 집단 괴롭힘등의 인권침해를 허락하지 않는다고 하는 자세로 지도에 임하고 있다 学校は、子どもの人権を尊重し、いじめなどの人権侵害を許さない姿勢で指導に当たっている	36%	55%	8%	1%
11	인권 관련 수업에 힘을 쓰고 있다 人権に関する授業に力を入れている	26%	66%	7%	1%
12	민족적인 학습이나 행사를 통해서, 민족 교육에 충실하게 힘을 쓰고 있다 民族的な学習や行事を通して、民族教育の充実に力を入れている	62%	37%	1%	0%

공중 도덕이나 학교의 규칙 등, 적절한 지도를 하고 있다				
13 公共のマナーや学校のきまりなど、適切な指導をしている	33%	60%	7%	0%
학교는 보호자의 상담에 적절히 응하고 있다				
14 学校は保護者の相談に適切に応じてくれる	43%	49%	6%	2%
학교는 가정과의 연락이나 의사소통을 적극적으로 하고 있다				
15 学校は家庭への連絡や意志疎通を積極的に行っている	33%	54%	11%	2%

[全般=1,2/学習=3,4/安全=5,6/学校生活=7,8,9/人權=10,11/民族=12/生活指導=13/保護者との連携=14,15]

2013 年度 学校評価アンケート 教員自己評価 2014. 3. 10

建国小学校

2013 年度 建国小学校 学校評価アンケートのご協力ありがとうございました。アンケートの結果をもとに、今年度の重点目標に照らし、教員自己評価を行いました。ご参照ください。

(民族的なもの)

1、今年より国語の授業が 3 班ですすめられるようになりました。少人数制で子どもたちの実情に合わせた、よりきめ細やかな授業を通じ、建国小学校全体の国語の実力を伸ばすことができたと考えます。国語の授業については、今後も継続して、研究をすすめ、民族学校から多くの在日社会のリーダーとなる子どもたちを輩出できるようにがんばっていきたいと考えます。

(学習面)

2、学年が上がるにつれ、学校生活の中で学習に費やされる時間が大きくなります。そのため学習の苦手な児童にとっては授業が負担となる現状があります。学習の苦手な子どもたちも、「授業が楽しい」と感じられるような、教材研究をすすめていきたいと考えます。旧態然とした講義形式に偏ることなく、実験・実習・体験型の授業、ICTの活用など、創意工夫をした授業で、子どもたち一人ひとりの目が輝くような授業をすすめます。

(人権的なもの)

3、「共に生きる」をテーマに、2008 年に始まった人権教育推進月間も今年度で 6 年目を迎えました。聴覚障がい、視覚障がい、肢体障がい、知的障がい、高齢者問題、と社会で生きる、さまざまな人々について学んでいきました。これらの学習を通じて、子どもたちは、障がいのある人々をより身近に感じることができるようになったと考えます。これから先、困っている人々に積極的に手を差し伸べ、また私たち 在日韓国人などが置かれている立場についてもより深く考えていくことができる人間になっていくことでしょう。

(学校生活)

4、今春の新校舎の完成により、今まで懸念されていた学校の設備・学習環境は改善の方向に進むと考えられます。全教室に無線LANの環境の整備、iPadの導入などICTを活用した授業やグループ活動で、子どもの積極性を引き出した授業を展開したいと考えます。

5、2013年のいじめ防止対策推進法の施行にともない、11月、本校においても「いじめ防止対策推進委員会」を立ち上げ、1月には、4年生以上の児童、保護者向けに携帯電話のマナーについての講演を行いました。またいじめにつながるような事象を早く察知し、子どもたちの心の負担を軽減できるように、「いじめに関するアンケート」を年2回実施していきます。

また新しい一年に向け、教員一同さらに研究・研鑽を積んでいきます。

保護者のみなさまのご理解・ご協力よろしく申し上げます。

学校法人白頭学院 理事会 貴中

2014年3月20日

2013年度 建国小学校 学校関係者評価

白頭学院建国小学校 学校関係者評価委員会
委員長 康民恵

・実施日および場所

2014年3月11日(火) 建国小学校校友会室

・学校関係者評価委員(5名)

小学校PTA会長 康民恵、副会長 夫清美、副会長 姜孝裕、
小学校教頭 南信雄 小学校教務主任 梁真規

○はじめに

建国小学校が今年度当初に設定した「教育重点目標」にしたがってすすめてきた様々な教育活動に対して、3学期に「児童アンケート」「保護者アンケート」を実施し、その結果を踏まえて「学校自己評価」をまとめられました。

本委員会ではまず、アンケートのほとんどすべての項目において肯定的な回答(AおよびB)が圧倒的に多く、小学校の今年度の取り組みに対して児童や保護者が高く評価していることを確認しました。

続いて「学校自己評価」が適切であるかどうかを中心に、以下の「学校関係者評価」を行いました。

1. (民族的なもの) について

自己評価の内容はほぼ適切であり、今年度から国語の授業が3班編成で実施されるようになった結果、国語の学習に対する児童の満足度や保護者の評価も高い。「在日社会のリーダーとなる子どもたちを輩出できるように」という学校目標が達成できるよう、今後も引き続き創意工夫と改善を重ねて国語学習の充実を図ってほしい。

2. (学習面) について

児童アンケート中の「授業はわかりやすく楽しい」はほとんどが肯定的回答であったのに対し、「授業中によく発表する」「ICT機器をよく活用する」等の肯定的回答があまり高くない。それに対して「旧態然とした講義形式に偏ることなく、実験・実習・体験型の授業、ICTの活用など、創意工夫した授業で、子どもたち一人ひとりの目が輝くような授業をすすめます。」とした学校評価は極めて適切である。課題を正確にとらえて自ら考える力や、それをまとめきちんと表現できる力をより伸ばせる教育の実現を、たゆまぬ授業研究と教育機器の充実・活用によって図っていただきたい。

3. (人権的なもの) について

「学校へ行くのが楽しい」の設問に対する肯定的回答が1年生100%、2～3年生93%、高学年85%と高い。これは学校が取り組んできた様々な教育活動の成果であるが、とりわけ学校自己評価にも触れられている、「共に生きる」をテーマに2008年から始まった人権教育推進月間等の人権重視の教育活動がその基盤をなしていると評価する。一人ひとりの人権が大切にされる環境が児童たちの安心感を生み、学校生活を豊かなものにしていくと評価する。

4. (学校生活) について

「学校の施設・設備は学習環境の面でほぼ満足できる」の設問に対して、保護者の半数以上が否定的回答(CおよびD)を寄せている。学校自己評価では「新校舎完成により改善の方向に進むと考える」としており、評価としては適切である。

しかし「学習環境」は施設・設備といったハード面だけを指すものではなく、児童に直接関わる学校教職員というソフト面も含まれる。新校舎完成で満足することなく、母国研修も含めた教員研修制度の充実化や教材研究時間の確保、また積極的な外部講師招聘や教職員採用等、今後は子どもたちを育てるマンパワーの充実にも力を注ぐことを期待する。

○おわりに

以上のように、学校自己評価については概ね適切であると評価します。しかしアンケート結果に対するより精密な分析と、それに対するより具体的な対応策の検討が今以上に必要だと考えます。また、設問数も低学年14、高学年22であるのに対し、保護者は15となっているのは少ないと感じられます。児童とともに保護者も「教育主体」であり、よりよい学校づくりにあたっては、より詳しく感想・意見や評価を問うアンケートになるよう、今後の充実化を期待します。

この「学校関係者評価」が理事会、評議員会にて十分議論され、その結果が2014年度の建国小学校のよりよい教育づくりへ活かされることを強く期待するものです。

< 2013年度学校評価・改善方策 >

(民族的なもの)

- 1、今年度より実施した国語の授業3班分班制について、評価と問題点の検討を行い、在日クラスの編成方法を確認・変更し、よりきめ細やかな授業を通じ、建国小学校全体の国語の実力を伸ばすことを目指します。(国語の授業については、民族学校から多くの在日社会のリーダーとなる子どもたちを輩出できるよう、今後も継続して研究を行います。)

(学習面)

- 2、学年が上がるにつれ、学校生活の中で学習時間の占める割合が多くなり、学習の苦手な児童にとっては授業が負担となる現状があります。学習の苦手な子どもたちも、「授業が楽しい」と感じられるよう、教材研究をすすめ、講義形式に偏ることなく、実験・実習・体験型の授業、ICTの活用など、子どもたち一人ひとりの目が輝くような授業をすすめます。

(人権的なもの)

- 3、「共に生きる」をテーマに、2008年に始まった人権教育推進月間も6年間実施してきました。聴覚障がい、視覚障がい、肢体障がい、知的障がい、高齢者問題など社会で生きる、さまざまな人々について学んできました。これらの体験的学習を研究・改善しながら継続し、これからも、困っている人々に積極的に手を差し伸べ、また私たち-in 日韓国人などが置かれている立場についても、より深く考えていくことができる子ども達の育成を目指します。

(学校生活)

- 4、新校舎完成により、これまで懸念されていた学校設備・学習環境は改善の方向に進みます。全教室に無線LANの環境の整備、iPadの導入などICTを活用した授業やグループ活動で、子どもの積極性を引き出した授業の展開のため準備研究を進めます。

- 5、2013年のいじめ防止対策推進法の施行にともない、11月に本校においても「いじめ防止対策推進委員会」を立ち上げ、1月には、4年生以上の児童、保護者向けに携帯電話のマナーについての講演を行いました。いじめにつながるような事象を早く察知し、子どもたちの心の負担を軽減できるように、「いじめに関するアンケート」を定期的に(年2回以上)実施し、「いじめ防止基本方針」を策定し、全教職員が、日頃より、「いじめはゆるさない、ゆるされない」という心構えで教育活動を行います。